



# 本郷小

会津美里町立本郷小学校  
令和5年度学校だよりNo.8  
令和5年5月25日  
発行者 校長 星 潔

## 家庭訪問 ありがとうございます！

5月22日（月）から実施しております家庭訪問におきましては、お忙しい中、お時間を割いていただき誠にありがとうございます。これから訪問させていただくご家庭もございますが、短い時間の中ですが、お子様の健やかな育ちのため、貴重な話し合いの場となっております。今後ご家庭と連携をしながら、この話し合いを生かして参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## 授業の様子から！

早いもので来週にはもう6月に入ります。子どもたちは「**本気で 郷 GO！ ドリーム スマイル チャレンジ チーム本郷**」のスローガンの下、一生懸命に学習に取り組んできました。5月の学びの様子の一部を紹介させていただきます。



2年生



3年生



6年生

モニターに学習資料等を提示することによって、子どもたちが「よりわかる」授業づくりに教員は努めています。



1年生



種まきなど体験的な学習を通して、子どもたちにとって、より生きた学びになるようにしています。

ゲームの要素を取り入れ、楽しみながら、理解が深まるように工夫しています。



1年生



きらら学級

一人一人に応じて学びが深まるように個々のめあてに沿って学習を進めています。



きらら学級

6年生



子どもたち同士の学び合いを大切にした授業づくりをしています。

4年生



2人の教員で打ち合わせをして、より子どもたちが学びを深めることができるようにしています。

5年生



読解力向上にもつながる読書に親しむことができるようにしています。

何といても学校のご真ん中、中心は授業です。子どもたちにとって「わかる・できる」授業を日々行っていくことが教員にとって1番大切なことです。しかし勤務時間（本郷小学校は**8:15~16:45**）の中で、教員がその準備を行っていくことはなかなか難しいです。学校は今まで、削減なく様々なことを取り入れてきて、教員の業務が膨大になってきてしまいました。令和の時代の学校は、やはりスリム化を困っていかなくてははいけません。福島県小・中学校長会では、教員が授業に集中し、健康で明るく子どもと向き合えるために「教員の働き方改革宣言」を行っています。また福島県教育委員会でも「教職員多忙化解消アクションプランII」を策定し、教職員の時間外勤務の削減を目指しています。本校教職員も時間外の勤務時間はかなり多くなっています。しかしこの現状は、決して好ましいことではありません。学校のご真ん中の授業を、教職員と子どもたちが日々笑顔で行っていくことができるように、これから様々な改善や削減を行っていくことが出てくると思います。教職員、子どもたちが、授業で輝く姿を数多くつくっていくためにも、保護者の皆様のご理解を何卒よろしくお願いいたします。

## 校長のひとりごと

先週号の学校だよりで、自分の子育ての反省点の一つとして、私がもっと深く子どもたちに関わればよかったと記述しました。特に娘が小四、息子が入学前までは「仕事が忙しい」と仕事のせいにして、なかなか関わりの時間がもてませんでした。今振り返ると、平日は、朝早くに家を出て、帰宅時間も遅く、本当に妻には苦しい思いをさせることも数多くあったと思います。共働きであったのに、保育所の送迎、食事の準備等は全て妻に任せっぱなしのダメパパでした。今、夫婦2人暮らしになってから、この頃のことを突つかれる時もあります。保護者の皆様、特にお父さんは、私のようにではなく「イクメン」として頑張ってもらえと思っています。お父さんもお母さんもぜひお子さんと深く関わってください。子どもたちから自分に返ってくるものも大きいはずですよ。